

□議員名：吉永美子

1 東日本大震災被災地を初めとする被災地の支援について

論点	3月11日で東日本大震災から9年目を迎える。また去年は台風15号や19号により大切な人命を失った。被災した本市だからこそできることがあると取り上げてきたが、被災地支援の現状はどうか。
回答	東日本大震災では、現在は1名の方が転入されている。転入と同時に介護施設に入所され、現在に至っていると聞いている。全国的に災害が多発しているこの数年であり、被災された自治体から応援要請もあるが、余剰人員の確保が難しく現在はお断りしている。ただ、協力は惜しまないという心情については、理解をいただきたい。

論点	コロナが終息した際には、仙台市天文館が作成した東日本大震災関連のプラネタリウム番組の映写を行ってほしいと思うが、いかがか。
回答	被災地の博物館として震災とどのように向き合うかということ考えた成果としてつくられたということについては、しっかり受けとめたいと考えている。星の教室の主催団体である青年の家のプラネタリウムの会や青年の家にもしっかり投げかけしたい。

2 対象者の立場に立った日常生活用具等給付事業について

論点	人工肛門装着者のストーマ装具のように、障害者手帳の発行以前から必要な場合がある。対象者の立場に立てば、医師の診断書により給付できるようにすべきと思うが、いかがか。
回答	ストーマ装具は、早期の段階から必要であることはわかっているが、現在の要項の中では申請を受理して手帳を交付するまでの2カ月間、自費で購入していただいているという現状がある。今後、県内の状況と財源も含めて、関係課と協議をしながら考えていきたい。

3 シティセールス推進について

論点	シティセールス課が設置されての2年間、シティセールス推進指針のもと、さまざまな取組みを展開してきたが、その評価はいかがか。
回答	多様な取組みを通して、一定の成果を得たと判断している。今後は、集成的に整えた指針等をベースとして、各取組みを継続させる中で、いかに従来の取組みと融合、さらには政策的に展開させつつ成果を出してい

	くかが問われる段階にあると考えている。
--	---------------------

論点	3月末で地域振興部が廃止となるが、これまでどおり、またこれまで以上の事業展開は大丈夫か。今後の展開予定を聞く。
回答	業務の継続という意味において、今回の改編の対象である地域振興部、企画部、市民部で協議をしている状況である。シティセールス課においては、現在と同様の3係体制、定住促進係も入ってくると思うが、そういったものも含めて事業自体の継続を前提とする中で、必要な人員配置についても適材適所を念頭に努めている。

論点	議会報告会での市民の意見にあるように、住みよさランキングという点をもっと前面に出すべきではないか。
回答	総合計画の中にある、住みよい暮らしの創造というところに基本理念があるので、住みよさということはアピールしていかなければならないとは思っており、そのPRについても検討していきたい。

論点	スマイルプランナーを中心に任意団体を立ち上げ、より柔軟に活動を展開すると指針の中で示しているが、スマイルプランナーを増やしながらか、活用がもっと進むようにすべきではないか。
回答	活用については検討中である。情報がお互いにないと、どのようにしてまちづくりをしていいのかわからないとか、スマイルプランナーの方々が行政に対してどのような要望をお持ちなのかとか、その辺が測りかねているところであり、スマイルプランナー同士、あるいは行政との情報の共有というのが非常に重要になってきているので、情報の共有をするツールづくりを、現在考えている。

4 スマイルエイジングパーク事業について

論点	令和2年度は、須恵健康公園に健康遊具が設置される。市民からの要請を受け、平成28年に近隣の自治会長名で健康遊具設置の要望書を市長に提出していたが、ようやく設置の運びとなり、関係者が喜んでおられる。今後は他の公園にも整備をするとのことだが、この事業を効果的に展開させるための行動予定を聞く。
----	--

回答	須恵健康公園のウォーキング用園路舗装の部分改修、健康遊具5種類の設置を予定しており、健康遊具には、名称、使用方法などを書いた説明板も設置する。多くの市民に利用していただくために、ウォーキング講座等イベントを開催し健康遊具のPRや、正しい使用法についても説明したい。市のホームページでも周知を図りたい。
----	--

5 ガラスのブランド化推進事業について

論点	来年度から始まるガラスのブランド化推進の事業を歓迎するが、どのように展開していく予定なのか聞く。
回答	ガラスのブランド化は3年間で実施する予定としており、1年目にブランドのテーマ、コンセプト及び事業計画を策定し、2年目、3年目に、1年目で策定した事業計画に基づいてブランド構築の事業を展開していく。ブランド化の推進協議会を立ち上げて、専門のコンサルタント業者に委託し実施する。

論点	市民とともにこの事業を推進していくことが重要だが、その点についてはどのように考えているか。
回答	ガラスのブランド化については、当初はやっぱり専門的な部分もあると思うが、コンサルタント業者等の協議の中で、どのように市民の方にかかわっていただけるかということも協議しながら、進めていきたい。

6 若者会議推進事業について

論点	現在の事業は来年度までの2年間となっているが、さらなる事業の展開が大切と考える。今後の展望を聞く。
回答	今年度の取組みの中でも、さまざまなアイデアを出していただいております。まずは2年間の取組みの結果を検証する中で、若者の意見を聞きながら、3年目以降の継続について判断すべきと考えている。

論点	愛知県新城市のように、若者議会を設置し予算をつけて提案してもらう手法をどう評価するか。
回答	新城市の若者議会の内容については、大変すばらしい取組みであると思っている。